

(別紙1)

事業実績報告書

申請者 特定非営利活動法人 シニアネット佐賀

1 事業名 小規模な初心者向けインターネット講習会の開催

2 事業日程 平成21年8月10日 ～ 平成23年2月28日

3 事業の概要

計画概要	<p>本プロジェクトは、インターネットの講習を行う環境が未だにできていない地域の公民館において、インターネットの初心者講習会を開催するものである。</p> <p>本プロジェクトでは、3G 携帯電話のデータ通信カードを無線 LAN に接続し、講習会場に於いて臨時にインターネット環境を構成し、電子メールを含めたインターネットの初心者講習を行う。メールサーバとしては、シニアネット佐賀が設置しているメールサーバを利用する。講習会の講師・サポートは、シニアネット佐賀のメンバーが務める。講習会の開催についての地域の公民館との話し合いもシニアネット佐賀で行う。</p> <p>平成21年度:受講者6人、2～3時間/日、4日間の講習会を2回開催予定。 平成22年度:受講者6人、2～3時間/日、4日間の講習会を4回開催予定。</p>
------	---

4 成果

本プロジェクトは、平成21年度と22年度に実施致した。

(1)概要

① 講習会開催実績概況

- ・講習会開催回数 11 回、講習会開催日数 1～5 日間。平均講習会日数 3.4 日。
- ・延べ講習会開催日数 37 日
- ・講習会開催は 1 日 2時間。1 日当たりの受講者数:平均 8 人。
- ・受講者総数は89名。延べ受講者総数は299人日 = 598人時
(途中欠席者は考慮せず) cf. 提案時受講者総数は144人日。

【開催一覧】

開催場所	開催日	受講者	内容
久保泉公民館	2010/2/23,24	8名	簡単な入力、インターネット
西与賀 C センター	3/20	3名	簡単な入力、インターネット
西与賀公民館	5/18,19,20,21	9名	基本、文字、インターネット、メール
久保泉公民館	7/23,8,27	14名	デジカメ、写真編集
西与賀公民館	7/28,29,30,31	7名	基本、文字、インターネット
北川副公民館	8/32,9/1,2,3	4名	基本、文字、インターネット
大和町道の駅	11/8,9,10,11	6名	基本、文字、インターネット
西与賀公民館	11/29,30,12/1,2	8名	年賀状
兵庫公民館	11/29,30,12/1,2,3,	8名	基本、文字、インターネット
久保泉公民館	12/6,7,8,	12名	年賀状
北川副公民館	12/14,15,16,17	10名	基本、文字、インターネット、メール

基本:パソコン基本操作、文字:文字入力

(2) 総括

■ 総合評価

- 後述のアンケート結果に見られるように、また講師・サポーターが受講者の反応から実感したように、講習は好評だった。

これは、講習内容を易しくし、ゆっくり丁寧にお教えるシニアネット佐賀の講習スタイル、また、メイン講師の他にサポーターを付けて、受講者の方の横からお教える方法を取っていること、が効果をあげていると考えられる。

【講師・サポーターの感想】

- 「受講者の方がリラックスして参加されているように見えた。」

- 「かなり高齢の方の参加があった。」

これは、シニアネット佐賀が、別に市町の中央公民館で開催している「チャレンジ PC 講座(3時間×4日間、受講料 3,000 円、地域福祉振興基金より助成、佐賀県高度情報化推進協議会後援、1回の受講者 20 名、県民だよりにて広報)」との比較してのもの。

- 男女比はおおよそ、男:女=4:6

- 「受講者の方がご自身で知りたいテーマを聞かれることも多く、個別相談的になることも多々ありました。」

このことから、校区公民館に於いては、いわゆる講習会スタイルだけでなく、質問に応じる相談スタイルも必要なことが確認された。

- 年賀状、ワード、エクセルなど個別のテーマに対する要望がある。

- 個人所有のノートパソコンの持ち込みもかなり多い(約4割)。

■ 携帯電話データカードによるインターネット環境:

- 本事業での講習会におけるインターネット・アクセスは、一箇所の講習会場を除いて携帯電話データカードを用いて行った。携帯電話による回線は中速度回線と呼ぶべきものだが、講習実施の結果、大容量画像を含む地図ページや映像などを注意深く避ければ、画像を含む WWW アクセスや Eメールの講習を少人数の受講者を対象に行うことができることが分かった。本事業で利用したインターネット回線については、後述する。

■ 講習会開催場所としての公民館の適性

- この事業で企画・実施した、受講者を数人～10人程度とする、少人数を対象とする講習会は、地域の公民館で比較的实现し易いことが分かった。

■ 講習会実現の費用について

- 本事業では、公民館・受講者から講習会開催に必要な対価を頂くことができなかった。初心者に対する講習は、コストを要する面もあるので、コストをどのように負担するかは今後の課題となった。詳細は、「(5)講習会の費用について」の項で後述する。

(3) 今後の課題と期待

国および県は、全ての方がインターネットを活用し安心して豊かな生活を送れるようになることを、重要な政策目標として掲げている。しかし、日本でのインターネット活用の普及は、学校教育と大企業での利活用が先行して、シニア層、農漁村・零細業者は、いわば取り残された状態にある。

本事業における公民館での講習会に対しても、またシニアネット佐賀が他に行うインターネット講習会に対しても、シニア層から多数の応募があった。実際の受講会場では熱心に受講されるシニアの姿が印象的であった。

私どもは、本事業を通じて、インターネットを利用してみたい、という希望を持っているシニアが多く存在し、その方々に対して、手ほどきの講習会が有効であることを確認した。

それと共に、依頼者の質問・困りごとに応える相談活動も重要であることも確認した。

シニアネット佐賀は、この10年間のインターネット普及活動を通じて、「シニアのインターネット初心者が安心してインターネットを使い始めて、使い続けるには、使ったことがある人に使い方を聞く、ことが一番早く容易である。」ことを学んできた。

地域のシニアの方々に対して、インターネット・パソコンの利活用を支援する場として、校区公民館は有力な場であることを、私どもは本事業で確認した。

一方で、現在の校区公民館側の支援体制は、訪れた人々が自由に使えるフリースポットなどのインターネット環境、及びインターネットの利活用を教える側の体制、その双方ができていないと言ってよい状態であると思われる。

シニアを中心とする地域の人々が安心してインターネットを利活用することができるようにする支援体制を、校区公民館を支えていらっしゃる方々と手を携えて作っていくことが必要であると考える。

(4) アンケート結果・分析

以下は、久保泉公民館、西与賀公民館で行った、2回の講習会のアンケート結果。

① 「久保泉公民館の於ける講習会のアンケートの結果について(H22.2)」

受講者アンケートの結果は以下の通り。

問1 参加された感想はいかがでしたか	割合
大変良かった	85.7%
良かった	0.0%
あまり良くなかった	0.0%
良くなかった	0.0%
未回答	14.3%
計	100.0%

問2 今回参加された講座の良かった点、悪かった点を教えてください。
良かった点
・インターネットはやった事がなかったので楽しく受講できてよかった
・講師の知識
・すべてOK
・時間が早い でも楽しくてよかった
悪かった点
・インターネットの接続スピードが遅かった

問3 今回参加することを決めた理由はなんですか？(複数回答可)	
内容に興味あったから	71.4%
近くの公民館で行われたから	42.9%
費用が安かったから	0.0%
その他	14.3%
計	100.0%

その他
・インターネットとはどういうものかを 知りたかったから

上記アンケートの結果から、住民の方々のインターネット講習会への期待は大きく、受講者の方々に喜んでいただけたことを読み取ることができる。

② 「西与賀公民館に於ける講習会でのアンケート結果(H22.5)」

※アンケート結果は、次ページ参照

【アンケート結果から読み取れること】

- 受講者 20 名中、男性 12 名、女性 8 名。平均年齢 60 才。
- ほとんどの参加者が公民館のチラシを見て参加。
- PC 操作は「はじめて」と「少し」を合わせると過半数になる。
- ワープロを使ったことがある方は 1/3。
- 自宅に家族の PC がある方が半数。自分の PC をお持ちの方は 4 割、その PC がインターネットに繋がっている方はその半分。
- 教材の内容は 8 割の方が「適当」と答えているが、一方で「難しい」と答えた人が 4 割強。
- 教材の中身は、ほとんどの人が「解り易い」または「普通」と答えている。
- 講師の説明は、全ての方が「解り易い」または「普通」と答えている。
- 6 割が、講習で習ったインターネットとメールを活用したい、と答えているが、2 割は 1 人は難しい、と答えている。
- 今後活用の希望としては、文書作成、表計算、はがき作成、デジカメを挙げている。

(5) 公民館のインターネット環境について

本事業においてインターネット接続に有線回線を用いたのは大和町道の駅そよかぜ館のみである。ぶんぶんネット様の好意により、事務室に引かれていたケーブルインターネットをユーザ数を増やして講習会で使用した。

他の公民館では、携帯電話データカードを用いて接続した。

接続回線は以下の通り。

佐賀市久保泉公民館	携帯電話	7 日
佐賀市西与賀コミュニティセンター	携帯電話	1 日
西与賀公民館	携帯電話	12 日
北川副公民館	携帯電話	8 日
大和町道の駅そよかぜ館	ぶんぶんネット	4 日
兵庫公民館	携帯電話	5 日

携帯電話に依る回線は中速度回線と呼ぶべきものだが、講習実施の結果、大容量画像を含む地図ページや映像などを注意深く避ければ、画像を含む WWW アクセスや Eメールの講習を少人数の受講者を対象に行うことができることが分かった。

用いた機材は、携帯電話データカード b-mobile 3G、ルータ・無線 LAN 親機 Covia CMR-350。LAN はハブを用いてもつばら有線 LAN として使用。

【速度テストの測定結果例】

b-mobile 3G

北川副公民館(〒840-0015)図書室机北側 アンテナ:3本
SPEED 2.5 (nagoya.speed.rbbtoday.com)

計測日時 : 2010 年 8 月 24 日火曜日 15 時 17 分 42 秒

下り(ISP→PC): 619kbps

上り(PC→ISP): 368kbps

北川副公民館図書室机南側 アンテナ:3本
SPEED 2.5 (nagoya.speed.rbbtoday.com)
計測日時 : 2010年8月24日火曜日 15時10分20秒
下り(ISP→PC): 485kbps
上り(PC→ISP): 370kbps

(参考) 同館でUQWiMAXも測定した.

機材は、AtermWM3400RN 無線 LAN 内蔵ホーム WiMAX ルータ.

<WiMAX>

➤ 北川副公民館図書室机北側

SPEED 2.5 (nagoya.speed.rbbtoday.com)

計測日時 : 2010年8月24日火曜日 14時23分31秒

下り(ISP→PC): 824kbps

上り(PC→ISP): 38kbps

➤ 北川副公民館図書室机南側

SPEED 2.5 (nagoya.speed.rbbtoday.com)

計測日時 : 2010年8月24日火曜日 14時29分12秒

下り(ISP→PC): 1.38Mbps

上り(PC→ISP): 93kbps

○ UQWiMAX は下りは太く上りが細いのが印象的であった.

○ 3G、UQWiMAX 何れも最大値、3G(下り 7.2Mbps、上り 384Kbps)、UQWiMAX(下り 40Mbps、上り 10Mbps)からは、3Gの上りを除いて、ほど遠い値であった.

本事業を通じて、大容量画像および映像にアクセスしないように注意していれば、3Gの携帯電話データカードを用いて、少人数の講習会を実施するのは可能であることが分かった。しかし、インターネットの便利さを実感するには、高速回線に接続されたインターネット環境が必要である。地域の住民の方々が、校区の公民館でインターネットを自由に使えるように、校区公民館にフリースポットを実現することが必要であると思われる。

佐賀市内の公民館には既に事務室にインターネットが引かれている公民館もある。

しかし、セキュリティの観点からは、住民の方々が自由に使うインターネット回線と、事務室などで使用する自治体業務で利用する回線とを別のものにすることも必要なことだと思われる。

(6) 講習会の開催の費用について

本事業「公民館で開催する小規模なインターネット初心者講習会の実施」については、開催の費用について、いくつかの課題を残した。

当初、24 日間の講習会開催に対して 24 万円を受講料として受講者・公民館から頂けると計画していた。ただし、この 24 万円という額は、講師・サポータの謝金・交通費への支出のみを想定しており、団体としてのシニアネット佐賀の運営経費分を含んでいない。

しかし、実際に頂いたのは 37 日間の講習に対して 156,000 円であり、シニアネット佐賀の一般会計より 117,688 円を支出せざるを得なかった。

今回頂いた受講料を、受講者1人1時間あたりに換算すると、261 円になる。

※ $156,000 \text{ 円(受講料総額)} \div 598 \text{ 人時} = 261 \text{ 円/(人時)}$

当初期待した額は、受講者1人1時間あたり 556 円であった。

※ $240,000 \text{ 円(受講料期待総額)} \div 432 \text{ 人時} = 556 \text{ 円/(人時)}$

(6 人×4 日×3 時間×6 回=432 人)

また、シニアネット佐賀が(財)地域福祉振興基金の助成を得て開催している、20名規模の講習会である「チャレンジ PC 講座」は、H23 年度の予算提案を、受講者一人あたりの時間コストに換算すると、964 円/(人時)となる。この値にはチャレンジ PC 講座を管理・運営するためのコストを含んでおり、実際に講習会を開催するには、この程度の額はどうしても必要となると私どもは考えている。

現在のチャレンジ PC 講座で受講者の方から頂いている受講料は 3,000 円/12hであり、1時間あたりに換算すると、250 円となる。チャレンジ PC 講座の募集に対して応募倍率は平均して2倍～4倍という現状から考えると、この程度の費用が、初心者がパソコンの講習会に支払う額としての妥当な額であるということになり、実際のコストと受講者の認識には大きなずれがある。

ちなみに、ICT 分野の教育を手がけている全国的な企業の方に尋ねたところ、受講者1人あたりの時間コストは、2,917 円/(人時)が必要という回答を得ているが、この額では受講希望がなく、現在は実施していないということである。

公民館と受講者からの謝礼の頂き方は2通りあり、兵庫公民館とそよかぜ館では、2時間4日間の講習会に対して、受講者から直接 2,000 円頂いた。その他の公民館では、公民館から講師・サポータ1人1日について 2,000 円の謝礼を頂いた。

今回の事業では、シニアネット佐賀の会員がつとめる講師、サポータともに、1人 1,000 円/時 + 交通費一律 300 円を支払った。ちなみにチャレンジ PC 講座の予算提案では、講師=2,500 円/時、サポータ=1,000 円/時、他に旅費、としている。

私どもの、本事業を含む初心者の方向けの講習会の実践から明らかのように、初心者の方向けの講習ではサポータが必要である。それは教える側の人件費がかかることを意味する。

一方で初心者の方は、「講習会で得られる対価=技量の向上」に不安があり、高額を受講料を支払うことに躊躇があるように思われる。私どもが行っている他の形態の初心者教育である勉強会においても、初心者の方を対象とする勉強会を成功させるには、講師・サポータの十分な人的支援体制が必要なことが分かってきている。勉強会においては、3～4人に1人の割合でサポータの参加が必要である。

このように教える側の人的コストを必要とするインターネット初心者教育のコストを、どのように社会で負担するかが、今後のインターネット普及の課題になっている。

(別紙2)

事業収支決算書

申請者 特定非営利活動法人 シニアネット佐賀

(収入の部)

項目	金額(円)	内 訳
プロジェクト事業補助金	500,000	
公民館、受講者からの受講料	156,000	公民館謝金：講師 2,000 円/日×65 人/日、 受講者 2,000 円×13 名
会費積立から繰入	117,688	
合 計	773,688	

(支出の部)

項目	金額(円)	内 訳	
補助 対象	ノートパソコン	400,000	富士通 MS Windows XP 10 台
	パソコンバッグ	1,1920	4 個
	アルカリ電池	315	
	無線 LAN 子機	16,420	BUFFALO WLI-UC-GN 10 個
	モバイルルータ	10,325	Covia CMR-350 1 台
	携帯電話データカード	39,900	日本通信(株) b-mobile3G hours150
	ソフトウェア	3,898	TechSoup
	液晶プロジェクタ修理費	42,840	ベスト電器に依頼
	講師等謝金	202,500	講師 1 名 2,000 円/ 2h
	交通費	41,420	講師等交通費
	会場費	4,000	そよかぜ館 会場費 4 日分
印刷費	150	そよかぜ館 講習案内チラシ	
小 計	773,688		
補助 対象外			
	小 計	0	
合 計	773,688		

※参考 プロジェクト事業では、補助限度額は 500 千円、対象経費の 80%以内とされている。

今回の補助対象経費 773,688 円×0.8=618,9504 円